

光明通信

第5号(令和5年10月27日)

生駒市立光明中学校

校訓「自主 健康 創造」

文責 校長 中井 一郎

スローガン「ひかり 明るい みんなの笑顔 心がステキ 光明中」

～人と人のつながりがたからもの～

「本気(マジ)」に盛り上がった体育大会

10月3日(火)に第41回体育大会を開催しました。天候にも恵まれ、4年ぶりに来賓の方や全学年の保護者の皆様にご覧いただくことができました。

今年の体育大会のスローガンは「本気(マジ)」でした。何事にも本気で、マジに取り組もうという思いが込められています。その言葉通りに、競技にも応援にも、自分の役割に対しても一所懸命に全力で取り組んでいました。

本校の体育大会は、1年生から3年生までの学級を縦割りの集団として、4つの色(青、赤、緑、黄)のブロックに分けます。3年生からブロック長と副ブロック長を決定し、リーダーとして各ブロックや学級をまとめ、引っ張りました。

縦割りの良さは、違う学年同士が協力し合い、応援し合うところにあります。競技中は、常に各ブロックの応援席から応援の声や拍手の音が響き渡っていました。

「大縄跳び」や「因幡の背渡り走」では、最初に各学級で円陣を組んで士気を高めました。学級で協力して、力を合わせながら取り組んでいました。

部活動対抗リレーには教員チームも参加して、大いに盛り上がりました。

午後からの「3年学年演技」は、1学期からダンスリーダーが中心になって演技指導をし、練習を続けてきました。その練習の成果が発揮されていて、素晴らしい演技でした。きっと、1年生や2年生も感動したことでしょう。

最後の種目である「学級対抗全員リレー」では、学年ごとに学級全員でバトンをつなぎました。各ブロックでの応援の盛り上がりも最高潮に達しました。

本気(マジ)に取り組むことで、勝敗にこだわるのではなく、みんなで楽しめる体育大会になりました。

3年生のリーダーシップにも感心しました。本当に素晴らしい体育大会になりました。この良い伝統を来年以降も引き継いでいきましょう。



感動の合唱コンクール 「鋼の心」で♪

10月24日(火)、午前中にたけまるホールで合唱コンクールを開催しました。今年は、保護者の皆さまにもご観覧いただきました。

体育大会が終わってから、毎日のように授業や放課後に、体育館や教室、音楽室で合唱の練習をしてきました。いつも校内に皆さんの大きく美しい歌声が響き渡っていて、その練習の成果を存分に発揮してくれました。

最初に全校生徒で校歌斉唱をし、「上を向いて歩こう」を合唱しました。スタートからすごいパワーとエネルギーを感じました。全校生徒が一つになった瞬間でした。

その後、1年生から2年生、3年生と順番に学年合唱と各学級の合唱が続きました。

すべての学年、学級が心をつにして、素晴らしいハーモニーを奏でました。どの生徒も精一杯、協調して取り組んでいました。素晴らしい合唱コンクールとなり、心が震えるくらい感動しました。

サプライズ出演で教員合唱もさせていただきました。アンコールをしてくれて、ありがとうございました。

開会式で、音楽科の藤岡先生から「鋼の心」で舞台に立つようにという話がありました。メンタル(気持ち)を強く持ち、緊張に負けないようにと言われました。

みんなと一緒に頑張ることで、緊張感や恥ずかしさもなく歌うことができました。あらためて仲間や友達は大切と思いました。

学校行事を通して、仲間の絆が深まってくれたら嬉しいです。



保護者の皆様へ

平素は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

2学期には3つの大きな学校行事が予定されていきました。文化発表会と体育大会、合唱コンクールでは、生徒たちの努力と成長が感じられました。

たくさんの保護者の皆さまにご覧いただき、感謝を申し上げます。お蔭様で、生徒たちがより一層の頑張りを見せてくれました。

いよいよ3年生は進路に向けて本格的に動き出します。1、2年生は伝統と文化を継承し、光明中学校の進化に向けて中心となって取り組みます。今後とも、子どもたちの成長を見守ってくださいますよう、よろしく願いいたします。